

☆☆☆「強く 正しく 健やかな西小っ子」に！☆☆☆

大村市立西大村小学校
学校だより

一歩前へ

文責：校長 高木 修
令和8年6月29日 No.7

☆☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆☆

◆「校長講話」～西小っ子の心を見つめる教育週間～

「命の大切さ」や「人を思いやることの大切さ」そして、「あこがれや将来への志を持つこと」等についてじっくり考える期間である、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」。県内すべての公立学校において、5月から7月の間で1週間を設定し、平成16年度から毎年、本週間に取り組んでいます。大村市では、必ず7月1日を含んでの1週間で設定するように決まっていますので、本校では6月25日(木)～7月1日(水)を今年度の「西小っ子の心を見つめる教育週間」としました。そして、6月26日(金)に、リモートで校長講話を行いました。

最初に、相田みつをさんの「いのち」の詩を紹介し、命は、この世の中でたった一つの、限りあるものであるから、自分も、自分の周りの人もとても大切なかけがえのない存在だということに「気づく心」をお互いに磨き合い、今というこの瞬間を、命を輝かせて生きてほしいという話をしました。その上で、人と人との関わりの中で、命を輝かせて生きていくヒントとなればという思いから、今年度は、「おはよう」(さかいようすけ作・絵、いろは出版発行)という絵本の読み聞かせを行いました。話の概要は以下の通りです。

いのち
あのお
自分にとって
一番大切なものは
自分のいのちなんだよ
だから
すべての他人の
いのちが
みんな大切なんだよ
みつを

朝、桜の花びらと一緒に気持ちいい風が高校生を吹き抜けました。とっても気分がよくなった高校生は、近所のおばあちゃんに「おはようございます」とあいさつをします。

このあいさつであったかな気持ちになったおばあちゃんは、ごみ拾いを始め、それを見ていたごみ収集車は、やさしい気持ちになって横断歩道の小学生を止まって通してあげ、うれしくなった小学生は…と、ハッピーのリレーが人から人へとどんどんつながっていきます。

やがてそのリレーは、遠い外国にも広がっていき、たくさんの人たちの気持ちをハッピーにしていきます。そしてそれは、テレビのニュースになってみんなの町にも届くのです。

朝からそのニュースを見てとっても元気になった高校生は、はりきって家を出て行きます。そして…、「あ おばあちゃん おはようございます！」と、再び近所のおばあちゃんに気持ちの良いあいさつをするのです。

このお話には、こんな「あとがき」がありました。

日々の生活のなかでの、ささやかな言葉や行動が誰かをハッピーにしたりブルーにしたり、そんなハートのリレーが毎日繰り返されて「今日」ができていくような気がします。そしてそれは知らないところで自分にもかえってきて。さいふの中の10円玉がめくりめぐって自分のところに来たいにね。この絵本に描いた世界のように、ちょっとしたことが明日の自分をかえていく感じ。そうやってすこしづつ、ハッピーが広がっていったらいいなと、そのきっかけにこの絵本がなれたらなあと思っています。

おはようと言えた朝と言えなかった朝。その違いは言葉にするのはむずかしいけどたしかにあると思っています。

ハッピーをあなたから

2004. さかいようすけ

「ハッピーをあなたから」ととてもいい言葉です。このお話のように、誰かの「おはよう」が、周りのみんなをハッピーにすることがあるし、もしハッピーになれば、その気持ちは、「ありがとう」という気持ちや言葉になってどんどん広がっていきます。そしてそれは、まわりまわって必ず自分に返ってくると信じています。そんなハッピーを広げていけるような西大村小学校をみんなでつくっていきたいです。まずは「おはよう」のあいさつから。私もハッピーを広げられるようにしたいです。